



筑紫野市立天拝中学校

SCHOOL NEWS vol.1 | 2026 April

天拝中学校のスローガン

ATM A 明るく T 楽しく M 前向きに

生徒も教職員もみんなが「明るく 楽しく 前向きに」なれる学校を みんなでつくります。
心理的安全性の確保 規範意識を大切にします。 1年生121名 2年生133名 3年生118名 総計372名

教育目標

しなやかさと粘り強さを兼ね備え(体) 多様な人々との協働を通して(徳)
社会や地域の発展に貢献する(知) 生徒の育成

天拝中学校の学校教育目標は、これまでの継続的発展的な取組をもとに、校訓「健康・協調・自主」の体・徳・知の内容と関連付けたものです。

重点1「課題に気づき、解決方法を考え、行動する主体的に学ぶことができる生徒の育成」

～ 自己指導能力、人間関係調整力の向上を通して～ ※「自ら学ぶ」「自ら関わる」「自ら表現する」そして「聴く」こと

重点2「信頼される学校・教職員」教師力の向上

※教師力(授業力、生徒指導力、人権認識・感覚、危機管理意識)

みんなで共有したこと 始業式 入学式 対面式 全校集会 ……



大切にしたいこと1 校長の話より

大切にしたいこと2 (生徒会スローガン)

「自ら学ぶこと」「自ら関わること」「自ら表現すること」
この3つを全力で挑戦することを期待している。
自ら学び、関わることを通して「気づき、考えたこと」を
自ら「自分の言葉や行動」で表現してほしい。

心一つに ～気づき、関わり、支え合う～

生徒会執行部が考えた天拝中の理想の姿は、「思いやりの心を持つ」「周りのことを自分事として捉える」「お互いに認め合う」の3つです。

「心一つに」になるためには、全員でお互いを理解し 違いを認めたくえて、同じ方向を向くことが必要です。「心一つに」することで、信頼が生まれ雰囲気も温かくなり、安心できる環境をつくることができます。「安心できる環境」を今年度の1年間で作りに上げ、1年後には作ってきた環境を生かして、生徒それぞれが自信をもって挑戦できるようにつなげていってほしいと思います。

「気づき、考え、行動する」このプロセスを大切にしてほしい。

【自分が成長するために】

自分のよさ、課題に「気づく」自分はどうなりたいのか、どうしたいのか、どうすべきなのかを「考える」、そして「行動する」

【心ひとつにするために】

仲間の良さに「気づく」、仲間のきつさや不安、思いに「気づく」、明るく楽しく前向きになるよう「考える」、そして「行動する」

大切にしたいこと3(学力向上) 野口先生の話より

大切にしたいこと4(生徒指導) 深川先生の話より

校歌に「心一つに 勤しみつ」というフレーズがある。
「勤しみつ」… 努力しながら 励み続けながら

学力向上のテーマ 頻度 …機会づくり 意識改革 …変化を実感 拡張…できることをふやす	学力向上の基本構造 ①目標 ②学習習慣 ③学習方略 ④自己調整 → 安定した学力	学習方略とは? 出題形式を意識した学習 用語問題、選択式、 記述問題、資料読み取り など答え方に応じた練習
今年もプレテスト・確認テストをします! 8割以上を取れる 自分で調整できる	RB 生徒会スローガン 心一つに ～気づき、関わり、支え合う～	勤しみつ ・努力しながら ・励み続けながら
11 いつも学ぶ 2 その日にやる 3 しっかり考える 4 見なおす 5 続ける	11 いつも学習習慣 2 そのままにせず解き直す 3 し 出題形式を意識する 4 ミスから学ぶ 5 次につなげる	11 合やるべきこと 2 そのままにせずやりきる 3 し 出題形式を分析・対策 4 ミスを減らす 5 次の行動を決める

ルール、マナーは目標達成のための「道具」 	ルール、マナーは皆さんを「輝かせる」ためのもの ルール・マナー=全員が「安心・安全」に通ぐための「基盤」
規範意識は自分をコントロールする「ブレーキ」 自己指導能力は自分で考え正しく行動する「ハンドル」 	期待：2・3年生の皆さんへ、この2つの意識で、学校全体を引っ張ってください!
『自分をコントロールし、周りを考えられる人になる』	『相手意識』 周りの人がどう思うか? 『目的意識』 何のためにこれをするのか? 考え行動しよう 「相手意識」と「目的意識」

まちつながりプロジェクト MIRAI バトン

6月17日(水)の午後に地域で活動します。

天拝中学校が主体となって地域と連携して行う活動の総称を「まちつながりプロジェクト」とし、その1つとして行う活動の名称が「MIRAI バトン」です。

4月20日(月)に第1回地区集会を開きました。

地区集会に区長さんや地区委員さん(保護者)、地域学校協同活動推進委員さんに参加いただきました。

地区の紹介や理想の地区の姿やどんな活動を望むかなどをお話いただきました。

このお話を受け、生徒たち自身が生徒たちの目線で、どんな地区にしたいか、自分たちに何が出来るかを話し合い、6月に実施する活動を地区ごとに決めていきます。